



第34回特別展

さいたまの製糸

さいたま シルク ストーリー
~ Saitama Silk Story ~

平成 22 年

10月2日(土) ▶

11月23日(火・祝)

開館時間：午前 9 時～午後 4 時 30 分

休 館 日：祝日を除く月曜日・祝日の翌日



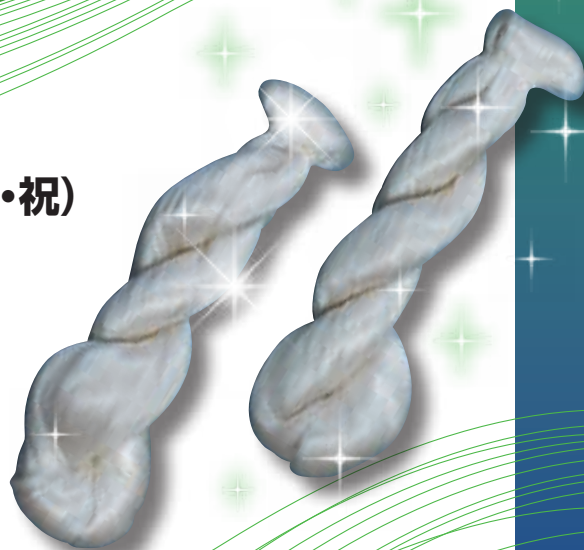
大宮駅から徒歩 15 分

入館
無料

さいたま市立博物館

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2-1-2 ☎048-644-2322

<http://www.city.saitama.jp/hakubutsukan.html>



第34回特別展

さいたまの 製糸

さいたま シルク ストーリー

～ Saitama Silk Story ～

さいたま市域が、かつて「製糸の町」であったことをご存知でしょうか。

明治政府が推進した殖産興業政策は、日清・日露戦争後の好況により、製糸業においても、生糸が日本最大の輸出品となります。そして農家の副業であった座繰り製糸から、大量生産の機械製糸へと拡大していきます。主に長野県で繁栄した製糸会社は、豊富な原料（繭 = COCOON）と広大な土地を求め、県外への進出を計画しました。埼玉県域は、労働力の確保や輸送における利便性から、多くの製糸会社が進出しましたが、さいたま市域においても、大規模な製糸工場が開業しました。

本展では、戦前、市内にあった製糸工場に焦点をあて、さいたまの近代産業の成立、そこで働く人々の暮らし、町が発展していった様子とともに、今も市内に残る製糸の面影をご紹介します。



大宮製糸所



渡辺製糸社長と輸出生糸

関連講座

- ① 「近代日本における機械製糸業の発展と欧米市場」
田村 均氏（埼玉大学教育学部教授）
10月24日（日）午後2時～3時30分
- ② 「さいたま市域の製糸業の変遷」
仁村 勉氏（前さいたま市立三橋中学校長）
10月31日（日）午後2時～3時30分
- ③ まゆ体験講座「真綿で作るミニマフラー」
東京農工大学 科学博物館 友の会・絹グループ
11月7日（日）午後1時30分～3時30分
真綿から太糸を作り、指編みで簡単なマフラーを編みます。

会場：市立博物館 講座室 定員：①②各40名 ③25名
費用：①②無料 ③材料費1,000円
申込方法：10月5日（火）午前9時から電話で市立博物館へ
☎ 048-644-2322

学芸員による 展示解説

10月10日（日）・11月14日（日）

各日 午前11時～・午後2時～
各回30分程度 申込不要



ニューヨーク万国博覧会での繰糸実演（片倉製糸）